

阿部興業株式会社

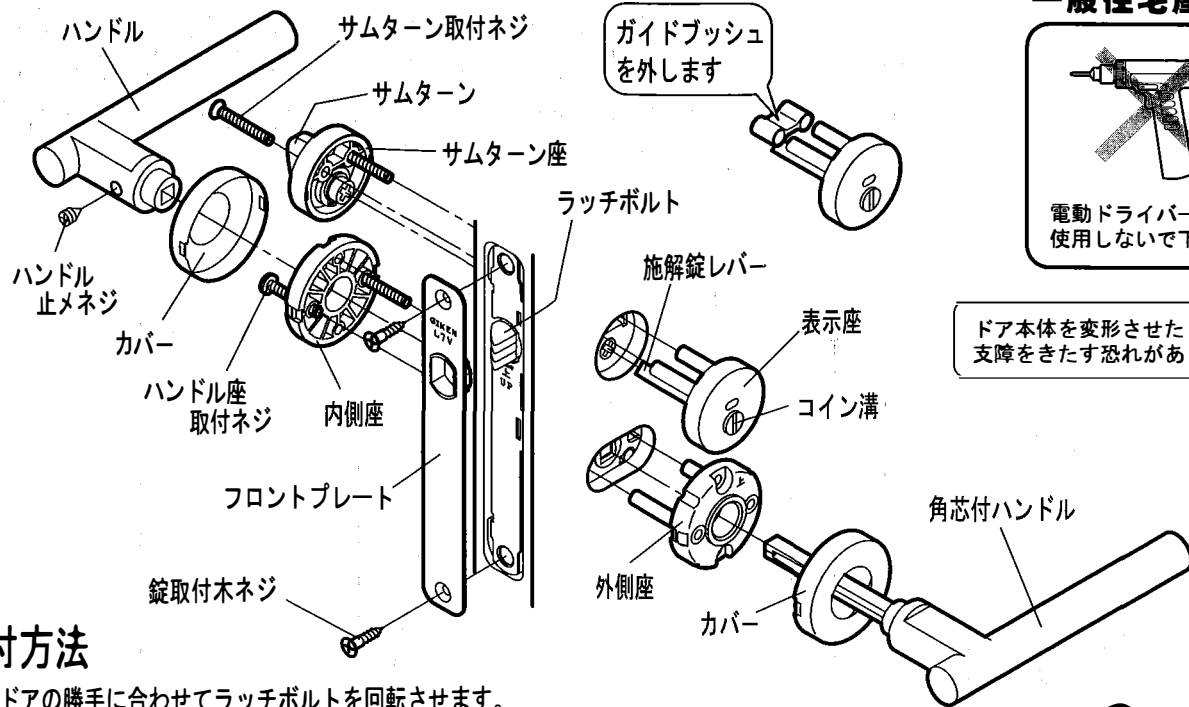
ドア用ロック 取付説明書

川口技研

一般住宅屋内用



ドア本体を変形させたり、錠の機能に支障をきたす恐れがあります。



取付方法

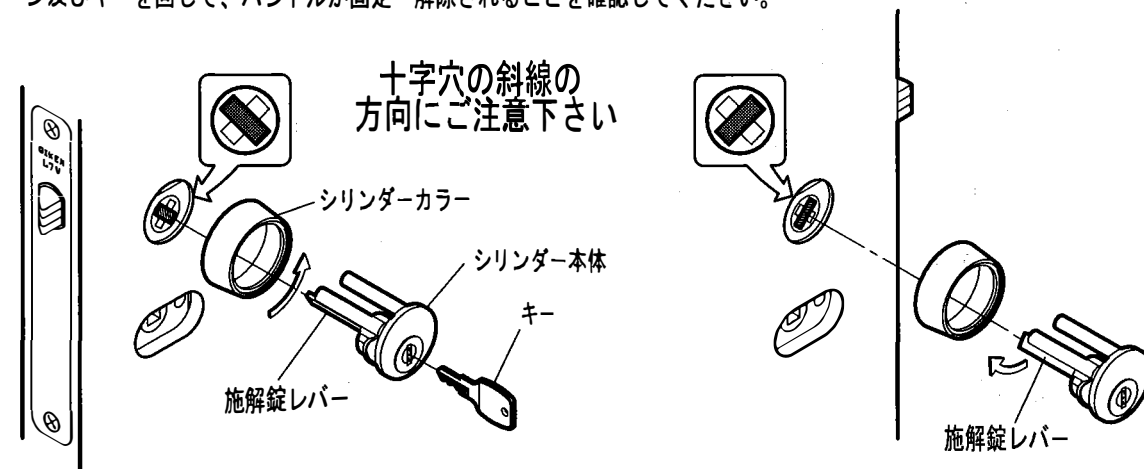
1. ドアの勝手に合わせてラッチボルトを回転させます。
(錠取付木ネジを取ってフロントプレートを外し、ラッチボルトを回転します。)
2. ラッチボルトを指で押込んでみて、解錠状態であることを確認します。
3. 外側座を錠本体の芯出し穴に差込み、内側座と座取付ネジで仮止めて下さい。
4. 角芯付ハンドルを錠本体に差込み、反対側から対のハンドルを差込みます。
ハンドルがスムーズに動くことを確認しながら、内外の座を座取付ネジで締付けて下さい。
5. ハンドルを一旦抜いてから、内外のカバーの切欠きを合わせて、はめ込んで下さい。
6. ハンドルを差込み、ハンドル止メネジで固定して下さい。
7. 表示座のコイン溝を縦にして、施錠錠レバーを錠本体の上部の十字穴に通します。
*この時ガイドブッシュを外して下さい。
内側のサムターンも縦にして表示座とサムターン座を組合わせ、サムターン取付ネジで固定して下さい。
8. サムターンを回して、ハンドルが固定・解除されることを確認して下さい。



サムターン座の取付ネジ注意

シリンダー錠の場合

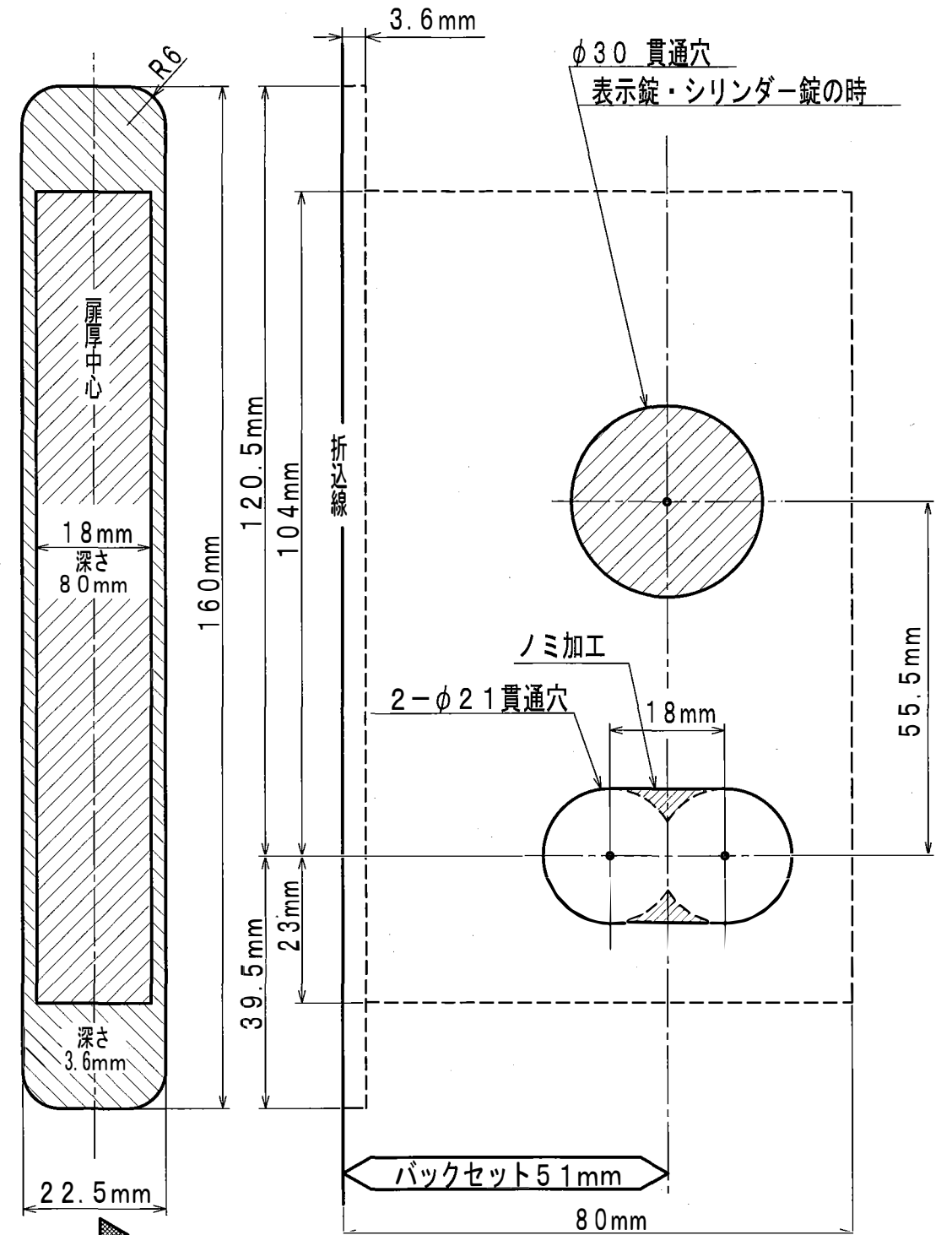
9. キーをシリンダー本体から外して下さい。
10. シリンダー本体にシリンダーカラーを通します。
11. 下図のようにドアの左右勝手に合わせて施錠錠レバーを矢印の方向に傾け、錠本体の十字穴の斜線側に通します。
12. 内側のサムターンを縦にしてシリンダー本体とサムターン座を組合わせ、サムターン取付ネジで固定して下さい。
13. サムターン及びキーを回して、ハンドルが固定・解除されることを確認してください。



取付型紙

注意

ケースロックの厚み(17mm)に合わせて18mmで彫込んで下さい。彫込みが広すぎると、ケースロックとドアの隙間が大きくなるため、座の取付けるネジを強く締込むとドアがへこむ恐れがあり、カバーの掛りが悪くなる場合がありますのでご注意ください。



掘込み幅が狭い場合、フロントプレートが浮いてしまいますので、ご注意ください。

【注】
本取扱説明書は原本ではございません。
実寸とは異なる可能性がございますので、加工の際は記載寸法をご参照頂き、
型紙としてのご使用はお控え下さい。